

奇想の
造形、

時代を
超える
技の
粋



宮川香山
「高浮彫板蓋足付大花瓶」
田邊哲人（ロンドン）（現理）

特別展

神業ニッポン

明治のやきもの — 幻の横浜焼・東京焼 —

KAMIWAZA NIPPON! YOKOHAMA WARE and TOKYO WARE
—Meiji-era Japanese Ceramics which Crossed the Sea

新型コロナウイルス感染症の状況により、会期を変更する場合があります。
最新の情報は当館ウェブサイトにてご確認くださいませうお願いいたします。

2021 3.20 (土・祝) — 6.6 (日)

開館時間 = 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
 休館日 = 毎週月曜日[5月3日(月・祝)は開館、6日(木)振替休館]
 入場料 = 一般 700円(560円) / 高大生 520円(420円)、
 中学生以下無料
 ※()内は20人以上の団体料金 **ネット割引券利用で10%off**

主 催 = 滋賀県立陶芸の森、 京都新聞
 後 援 = 滋賀県教育委員会、甲賀市、 大津放送局
 協 力 = 神奈川新聞社

滋賀県立 陶芸の森 陶芸館

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勸旨2188-7
Tel.0748-83-0909 / Fax.0748-83-1193 / Web <https://www.sccp.jp>

神業ニッポン

明治のやきもの — 幻の横浜焼・東京焼 —

1859(安政6)年、横浜港が開港。

開国を機に日本で近代の幕が開くと、横浜や東京には各地から陶磁関係の業者が集まり、工房や店を構えるようになります。全国の陶産地から素地を取り寄せ、外国人や海外への輸出向けの、絵付けや装飾を凝らした「横浜焼・東京焼」が誕生しました。

優美で精緻を極めた「横浜焼・東京焼」の品々は、万国博覧会で紹介されて反響を呼び、欧米諸国で大きな関心を集めました。また、その類い稀な意匠は欧米におけるジャポニスム(日本趣味)ブームを加速させ、横浜港から大量に海外へ輸出されることとなります。

輸出品という性格上、「横浜焼・東京焼」が国内に残ることは稀で、「幻の陶磁器」といわれています。本展では、国内随一のコレクター・田邊哲人氏所蔵の里帰り作品を中心に、国内に現存する優品約140点を紹介し、超絶技巧で知られる「職人技」の魅力にせまります。



宮川香山
「高浮彫牡丹・眠猫覚醒大香炉(明治時代前期 田邊哲人コレクション)横浜美術館寄託)」



中村鐘次郎
「色絵花鳥文碗・皿」
田邊哲人コレクション



井村彦次郎
素地・初代川本樹吉
「色絵花鳥文彫形耳付花瓶」
田邊哲人コレクション



川戸房次郎
「色絵秋文茶器セット」
田邊哲人コレクション



宮川香山
「高浮彫四窓遊蛙獅子鈕蓋付壺(対)明治時代前期 田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)」



宮川香山
「釉裏紅群鯉文水注」
田邊哲人コレクション



成瀬誠志
「色絵遊猿文皿」
田邊哲人コレクション



宮川香山
「高取釉高浮彫蟹花瓶」1916年
田邊哲人コレクション
(神奈川県立歴史博物館寄託)



序章 ～横浜開港～ 「大日本」世界へ発信

第I章 ～万国博覧会デビュー～ 東京錦窯の誕生

第II章 ～宮川香山と井村彦次郎～ 横浜焼・横浜絵付のはじまり

第III章 ～輸出陶磁器の隆盛～ 東京焼・東京絵付の精華

第IV章 ～驚異の横浜絵付～ 陶磁器商、陶磁画工の台頭

関連行事

1. 記念講演会「幻の横浜焼・東京焼 — その魅力にせまる —」 参加無料 要事前申込

講師=荒川正明氏(学習院大学教授 本展監修者)

日時=令和3年4月25日(日)14:00～15:30 / 場所=陶芸の森 信楽産業展示館 ホール

2. 体験講座 令和3年5月30日(日) 要事前申込

「壺から飛び出す花・鳥・猫 —好きなものを盛り付けよう」

講師=榎本佳子氏 / 対象=中学生以上 / 定員=15人

参加費=5,000円 / 場所=陶芸の森 信楽産業展示館 創作室



3. 期間限定メニュー

「芝生で奇想の和洋BENTOピクニック」

和洋折衷の作品をイメージした奇想の和洋BENTOを用意しています。

場所=陶芸の森 信楽産業展示館内 BROWN RICE AND WATER

※期間限定メニューを注文する方には、展示割引券(2割)を贈呈



4. ギャラリートーク(学芸員による展示解説) ※申込不要、要入場券

①5月9日(日)、②5月16日(日) 各日とも13:30～

事前申込方法 ①イベント名 ②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号を記入の上、下記いずれかの方法でお申し込みください。

電話=0748-83-0909 / FAX=0748-83-1193 / E-mail=mori-otoiawase@sccp.jp

陶芸館ギャラリー企画

「ぬんどでフロッターージュ — まち、公園、学校を写しとろう!」展

令和3年3月20日(土・祝)～3月28日(日)

「森で生まれた驚きの技」展

令和3年4月1日(木)～6月6日(日)

出品作家=徳丸鏡子、杉浦康益、大石早矢香、榎本佳子、鈴木秀昭、原 菜央

次回展覧会

特別展「Human and Animal 土に吹き込まれた命 21世紀陶芸の最先端 / Part1」

会期=令和3年6月29日(火)～9月5日(日)

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定の変更もしくは中止する場合があります。最新の情報は、当館のウェブサイトにてご確認ください。



滋賀県立 陶芸の森 陶芸館



アクセス

□公共交通機関

○「JR草津駅」より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、徒歩20分(約75分)

○信楽高原鉄道「信楽駅」より甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」または「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分)

□自動車

○新名神高速道路 信楽I.C.から約8分

○駐車場(無料) 普通車/約250台
大型バス/約10台